

向い、台

千葉市立都小学校だより

令和4年度7月号



もうすぐ 夏休み！！

校長 鈴木 巧

梅雨に入ったと思ったらあっという間に明けてしまい、今年はまた一段と暑い夏になりそうです。学校ではコロナウイルスと共に、熱中症にも十分気を付けていきたいと思えます。

さて、6月11日（土）の学習参観、学級懇談会では、たくさんの保護者の皆様方においでいただき、ありがとうございました。学習参観は、昨年に引き続き、コロナウイルス感染予防のため、クラスを二つに分けての開催でした。普段よりちょっとがんばっている子どもたちの様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。今年は2年ぶりに学校評議員会も開催し、評議員の方々にも見ていただくことができました。また、学級懇談会はオンラインで開催いたしました（1年生のみ対面開催）。しばらくはタブレットも上手に活用しながら様々な活動を行っていかうと考えています。

また、22日（水）には千葉市音楽発表会が行われました。今年度は5年生が参加しました。こちらも本町小、鶴沢小、桜木小をオンラインでつないでのオンライン開催となりました。

5年生は今年度、和楽器に挑戦しました。琴と三味線、こきりこを使って日本古謡の「さくらさくら」を演奏しました。タブレットの利点を生かし、各クラスで取り組んだものを先生方で編集し、当日はギガタブで鑑賞しました。琴の美しい音色が春の満開の桜を思い起こさせるように響き、とても素晴らしい演奏でした。

7月12日（火）からは、6年生が2泊3日で鴨川青少年自然の家へ農山村留学に出かけます。安全には十分気を付け、楽しい思い出の一つとなるようがんばってきたいと思えます。

これからは暑い日が続きますが、夏休みに向けて教職員一同子どもたちの成長を願い、指導を重ねてまいります。夏休みに入ってから、個人面談が予定されています。お子様の成長ぶりを担任から聞く良い機会としてください。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

都小150年の歴史(3) 百年桜「宝根」

かつては校舎の南側に「百年桜」と呼ばれた大きな桜の樹がありました。その桜も年輪を重ねたことと台風の影響で伐採することとなりました。平成6年（1994年）、都小のシンボルだった百年桜を記念に残そうと、「宝根」として根を切木したものが現在、職員玄関に飾られています。

（創立130周年記念誌より）

都小PTA・後援会、そして地域の皆様のご支援によりこの百年桜は残されました。子どもたちもこの立派な百年桜のように力強く育ってほしいと願っています。

